

和地ひとみレポート No.250

平成29年度『市民意識調査』結果報告書

どのように活用“するのか”“されたのか”を明確に



■4回目の市民意識調査

…東大和市では平成25年度から第四次基本計画の計画期間（平成25年度～平成33年度）における施策の進捗状況を把握するために市民意識調査を実施しています。この調査は毎年2月中旬から1か月かけて実施され、その対象は2月1日現在、東大和市内在住の18歳以上の方の中から無作為に選ばれた2,000名です。…調査については、調査票（アンケート用紙）を無作為に抽出された2,000名の方に郵送して行われますが、第4回となる今回の調査では回答者数が過去3年で最も少ない結果となりました。

【市民意識調査の回答者数】

平成27年度……………811名(回答率40.6%)
平成28年度……………761名(回答率38.1%)
平成29年度(今回)…741名(回答率37.1%)

■調査項目は

…市の行政運営は構想期間を20年とする『基本構想』から『基本計画（計画期間9年）』、『実施計画（計画期間3年。毎年度、見直しを行う）』と、その取り組みがより具体化され、最終的には毎年度の予算に反映されます。このような取組の中において市民意識調査は『市民が“都市の将来像の実現に向けた課題が、どの程度解決された”と考えているのかという情報を得るために、各施策の基本目標に対応した調査内容で行う』とされており、その結果については重要度と満足度をもとに、「加重平均値」を算出して比較評価することとされています。

…また、調査項目に関しては『事務事業評価と連動したものとなるように』設定するとされています。今年度の調査項目については昨年度と変化した項目もあり、この項目設定から市が何を重要と考えているかを推測することができます。

【今年度の調査項目】

- ① あなた自身のことについて
- ② 定住意向について
- ③ 東大和市の施策について
- ④ 生活環境について
- ⑤ 東大和市の行政サービスおよび行財政運営の取組みについて
- ⑥ 広報広聴及び情報公開について
- ⑦ 東大和市の観光キャラクターについて★新規★
- ⑧ 健康・医療について
※昨年度は『医療機関の利用状況について』と『健康寿命の延伸について』という項目
- ⑨ 家庭廃棄物について
- ⑩ 消費者センターについて★新規★
- ⑪ 地域活動・地域コミュニティについて
- ⑫ 子育て環境について
- ⑬ 「東大和市ヘルプカード」について
- ⑭ 公園の利用状況等について
- ⑮ 市の魅力について
- ⑯ 旧日立航空機株式会社変電所について★新規★

※昨年度あった『スポーツ・運動・生涯学習について』という項目は削除。

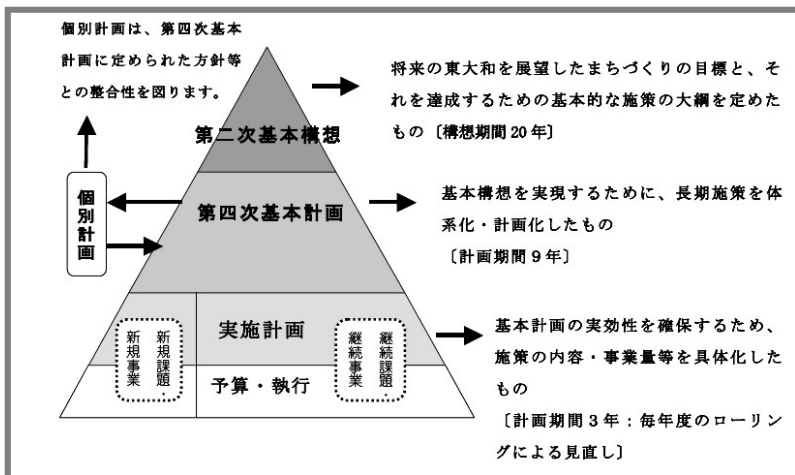
…上記の通り、今年度の調査項目は昨年度と違います。16番の『旧日立航空機変電所』については、その保存等のために、ふるさと納税を活用するなどして昨年度あらたに基金（特定の目的のために積み立てられる資金）を設立して取り組んでいる事業であるため、その認知度などを確認するために設定された項目であることは推測できます。

…一方で、平成24年4月に開催された東大和市では初となる食の祭典「東大和市グルメコンテスト“うまかんべえ～祭”」を盛り上げるために生まれたキャラクターで、現在は『市の観光キャラクター』となっている“うまべえ”については、今年度の調査項目に加えられたことについては、その意図は推測できません。



…大きな施策分野についての調査項目が多い中、新規に加えられた調査項目は個別具体的な事業についての調査項目です。せめて調査結果の報告書には「なぜ、今年度はこれらの調査が必要だったのか」についてのコメントが必要。それにより、市の事業に対する考え方への理解が深まると感じました。

（裏面に続く）



■市の施策に対する重要度と満足度は

…今回の『市民意識調査』の結果報告書については、現在、市のHPでも閲覧可能です。結果報告の主な内容は、各調査項目の結果の概要から始まり、各項目についても年齢別、地域別の分析のほか、項目によっては家族構成別（例えば、学校教育関連の項目に関する回答について、小学生が家族にいるかなど）も勘案し、クロス集計*も行っています。

***クロス集計**:特定の二つないし三つの情報に限定して、データの分析や集計を行なう方法。例えば、地域と年齢等。

…また、調査項目によっては自由回答欄も設けられており、書かれたコメントすべてが結果報告では公表されています。様々、気になる結果がありましたが、大きな方向性に関わる市の各施策に対し『どの程度重要と考えているか』と『どの程度満足しているか』について加重平均*で集計された結果を紹介したいと思います。（右記）

***加重平均**:「非常に重要」「非常に満足」を10点、「重要」「満足」を5点、「どちらともいえない」を0点、「あまり重要でない」「不満」を-5点、「全く重要でない」「非常に不満」を-10点として、それぞれの回答の数で重みづけをした値の平均値。
正の数値が高まるほど市民の評価が高く、負の数値になるほど評価が低いことをあらわす。

■意識をどう拾い、どう活かすのか

…右記の施策の重要度と満足度は皆さんの意識と合致していたでしょうか。もちろん、この結果は、個人個人で重要度も違うと思いますし、市の大きな方向性から見た優先順位と必ずしも一致しない部分もあるかもしれませんが、知りたいのは『市がこの意識調査を具体的にどのように活用しているのか』ということ。市の発する様々なところで「市民意識調査の結果から・・・」というコメントが無いわけではありませんが、どう活かされているのかは、あまり市民は知らされていないと思います。市民へのレスポンスが無いことが、今回の回答率に反映されているのではないかと感じます。

…また、毎年実施される市民意識調査の対象者2,000人は市民の2.3%。また回答をしてくださった方741人は全市民の0.86%です。市ではその他のテーマでも市民意識調査は行っていますが、この対象者を2,000人とした根拠も明確になっていませんし、回答者の割合も地域や年齢で偏りがあります。

…調査対象に選ばれた方は無作為なので、一定の公平性も担保されていると思いますが、日ごろ、市行政に対し、意見を言いたいと“積極的に”感じている市民からの意見を拾う機会もあっても良いと思います。例えば、無作為に行った調査の結果と、同じ設問に対し自ら回答したい人の意見をホームページから拾って、比較、分析してみるとということも出来ると思います。

【市の施策に対する重要度と満足度の意識調査結果】

※重要度が高いとされた順

	重要度	満足度
保険・医療の充実	7.01	0.87
防災体制の推進	6.70	0.07
防犯体制の推進	6.58	▲0.14
児童福祉の推進	6.43	▲0.11
学校教育の充実	6.38	▲0.18
社会保障の充実	6.31	▲0.26
高齢者保健福祉の推進	6.16	0.13
ごみの減量とリサイクルの推進	5.81	0.33
道路の整備	5.79	▲0.68
障害者福祉の推進	5.56	0.24
公共交通の整備	5.53	▲0.58
下水道の整備	5.31	1.72
勤労者福祉の充実	5.25	▲0.09
環境の保全	5.14	0.45
青少年の健全育成	5.10	▲0.25
良好な住宅環境の形成	5.08	0.77
市街地の整備	5.07	0.19
緑の保全・創出	4.80	1.18
地域福祉の推進	4.71	0.22
生涯学習の充実	4.64	0.45
消費生活の充実	4.50	0.05
都市景観の形成	4.09	0.68
商業の振興	3.98	▲0.56
恒久平和の実現	3.85	0.63
スポーツ・レクリエーションの推進	3.84	0.29
人権尊重・男女共同参画社会の確立	3.77	0.41
市民文化の振興	3.72	0.70
都市農業の振興	3.62	0.17
工業の振興	3.44	▲0.16
市民参画のまちづくり推進	3.36	0.12
コミュニティ活動の推進	3.06	0.23
広域行政の推進	2.97	0.13
ICTを活用した豊かな社会の実現	2.76	▲0.06
国際理解の推進	2.45	0.04
観光事業の推進	2.08	▲0.52

…市民意識調査の調査票には「市民の皆様の意識や行動、生活環境等についてうかがい、第四次基本計画に基づく行政の取り組みについて評価するとともに、今後のまちづくりに活かすことを目的としています」と市長からの協力への呼びかけが書かれています。調査は行って終わりではありません。結果報告だけではなく、調査結果をどのように活用したのかも公表することが、市民と共に作る市政といううえでは必要だと思いました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前で配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102